

事業名：情報リテラシー向上推進事業

情報推進課 情報管理係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	06 電子情報化の推進								
基本事業	02 情報の活用及び利用技術の向上								
開始年度	平成13年度	終了年度	平成25年度	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市職員

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・情報図書館におけるパソコン講習会の開催
- ・職員向けパソコン研修会の実施

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・パーソナルコンピューター知識を持った市民を増やす。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	0
対象指標2	市職員数	人	1,115	1,133	1,143	0
活動指標1	情報図書館各種パソコン講習会開催数	回	49	47	42	0
活動指標2	職員向けパソコン研修会開催数	回	2	4	4	0
成果指標1	情報図書館各種パソコン講習会開催参加者数	人	394	340	317	0
成果指標2	一定レベルのコンピュータースキルがある職員割合	%	76.1	81.8	83.6	0
事業費(A)		千円	116	210	0	0
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	0
総事業費(A+B)		千円	919	1,012	781	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報図書館におけるパソコン講習会の開催 ・グループウェア更新時操作研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループウェア更新時操作研修は更新費用に含んだため、本事業で費用は発生していない。

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
情報化社会の進展、パソコン等利用増加の中で情報の活用、利用技術の向上は不可欠である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
電子情報化を推進するためには、情報の活用及び利用技術の向上は不可欠である。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
研修等を実施することにより、市民と職員のパソコン技術は向上している。職員については一定の成果があらわれている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
基本的なパソコン操作については一定レベルに達しているので、今後はトラブル対応など、実務に即したスキルを向上させるための情報発信・情報共有などを推進していく。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
オフィスソフト外部講師研修については、受講希望者の減少もあり一定の成果を上げた判断し当分の間実施を見送ることとした。	